

僕が大地震に対して思うことは、どうにかして大地震が  
起こる前に起こるタイミングが分からないのかなというこ  
とと、大地震はプレートがずれて起こるのですが、なぜプレ  
ートがずれてしまうのか、どうにかしてプレートを固定でき  
ないのか、もしくはプレートを一つにすれば、プレートが  
ずれることもなくなると思うので、プレートをつなげ  
て固定できないのか。ということです。

そして、地震はいったい爆弾何個分のエネルギー  
を持つのか、というところも気になります。

僕は、この阪神淡路大震災についての言葉を聞いて、震災の小布が  
分かりました。また、家具をしっかりと止めて固定したりすることや、大きなおれ  
んげん物が壊れたり、火災が起るとして、実際にあったらどんな自分は  
小布かなと思います。また、高速道路が倒れている写真を見て  
地震で倒れておぼろげだかと思いました。あと、つねに、非難訓練  
の大切さが分かりました。このことを感じて、おれんげんに、大きな  
地震があった時に、落ち着いて安全に行きかよおうと  
思いました。この先また、この地震が来るか分からない  
ので、今のうちに、しっかりと家具を固定して、いざとな  
りと思えます。この阪神淡路大震災の言葉を聞いて、おれんげん  
のことを学ぶことができて、良かったです。つねに、意識を持ち  
ながら生活していきたいと思えます。

自分が住んでいるのが宝塚市で、小学校・中学校と阪神淡路大震災について宝塚の被害ばかり教わって来て、神戸の被害も今まで全然知らなかったのですが、今日特別授業を受けて、神戸の被害の大きさを学びました。宝塚は家がつぶれた、小エビル（階部分がつぶれた）の他に、神戸はビルが全壊したり、長田ではドヤがあったり、震災によるダメージがすごく大きかった。たのに、今こうしてビルが立ち並んでいるのを見て、復興のすごさを感じました。

この授業を受けてからYouTubeやTikTokで震災の動画がでてくるようになりました。

私の家にはこの震災で誰も死んでいませんが、それはすごく幸せなことだとすごく思いました。

特別授業を受けて、特に映画を見てのほほと平和に暮らしている日々に自然のまじりはいつでもモ牙をむくということを実感した。そのあとの写真で自分がこれまで震災の授業で見たことがある写真以外のものを見て、他の地域でも影響がすごかったことがわかりました。実際に淡路島で当時の断層を見たりしたことや、中学生のとき大阪の地震で実際に地震を体験してこれよりも強いものが前は来たんだと思えば昔の人たちはすごいと思いました。

阪神淡路大震災を通じて、あらゆる都市伝説が崩れました。絶対に安全と語られた、高速道路、新幹線の高架橋が崩れるなど、耐震性を見直し、新たなきっかけになりました。それにより耐震性を強化し、安全性が強化され、より安心性が高まりました。

阪神淡路大震災では、当たり前が当たり前ではなくなり、交通インフラなど復旧に時間が掛かり、多くの困難をされました。いかに、現在の生活が便利かということを実感させられました。現在人は72時間しか、飲まず、食わず、住こせないという事をよく言われていますが、この震災がきっかけですばやく救助してくれるおじになりました。

現在の地震への常識が生まれ、今日に耐えることが大きかったです。

阪神淡路大震災の25年がすぎた。たくさんの人々が死んでしまい、家族と身内の人も死んでしまい、大きな災害で、たくさん命がけになりました。

今、復旧した町も震災後は人通りが少なくなり、いろいろな建物も壊れてしまった。学校や体育館が死んでしまったり、いろいろな相像がありました。今、20年代も、大地震が来ても、みんなが感染してしまったり、12月が高まるといって、震災が来ても20年代には命を失ってしまったり、2つの心配をしなければいけません。

これをみんなが思いこみました。

この震災が来てもいかに、日常的に備えておくことが必要だと痛感しました。

今回の阪神淡路特別授業について、僕は地震について  
 ぎょうふ、心かいて来ていることも、動画を見て初めてこわさを  
 実感しました。地震は戦争とはちがひ、誰もわるくない  
 ので、そういう所でも多くの死者を出した地震はこわいです。  
 僕の母と父は、ちろん地震をけいけんしているのですか。フ  
 スメイト か、けかをしたなどの話も聞いたことがあるので、こわいです。

私は特別授業を受け、改めて震災の怖さを知りました。自分は今の時代生きているので、  
 直接震災を経験した言いません。でも親や先生の話から色んな聞いてい  
 くたびに、すごい怖いと思います。震災は人の手で防ぐというのは無理です。でも  
 人は震災が、必ずしも用意して自分が今できる最前の準備をしていけると思  
 いました。あの大きな地震で多くの人が巻き込まれたのは、としましました。それ  
 中必死には、新聞を發行してくれた神戸新聞さんとそれに協力してくれて、  
 京都新聞の知人は色んな人の助けには、7-んじの助けを思い出しました。南海トラフ  
 もいつくるかわかりません。次の震災がもし来ると時は、大で多くの人を助ける  
 ように今できる最前のことをしたいと思います。自分も、と震災の怖さを知  
 り自分ができるように、と先生と自分の子供とにも語りついで、いけると思います。  
 そして自分達より下の世代の子とにも震災のお話をし、知るとも知ら  
 ないかと思ひました。この度はお話を聞かせて下さり、ありがとうございました。

最後にさいごに歌、小学生の頃から大好きです。

私は神戸で生まれ神戸で育ち神戸で育ちました。私は元町の病院で産まれ今も元町の神港学園にかかっています。母も祖母も当時三ノ宮の消防署前に住んでいました。なので神戸には昔からとても親しみがある。今もこの町を愛しています。なので授業で見た当時の写真にはおどろきました。今自分が日常として見ているロードがセンターが、くちくちもにかつて、当時の被災者の気持ちがいかに理解できた気がしました。もちろん写真を見たばかりの自分と突然に被災した人達の気持ちと比べればまた死んでもいいと思いません。当時の人達のこころを思うと胸が締めつけられました。震災を経験していない我々若い学生や言語学部がそれぞれ、さらに次の世代の役に伝え、少しでもこれからの起るような災害の被害を減らす必要があると感じました。今回は特にありがとうございました。

阪神淡路大震災は体験をしていなければ、説明を聞いて、とても怖いと想ったし、せめて体験してなければ、体験したとしても死んだら怖いと想いました。なくなれたかたがたの分も毎日大切に生きていこうと想いました。昔小学時代にあの新聞を見たことがあって、もう一度怖さを実感しました。

私たちの知らない阪神淡路大震災は本当に怖いものだ  
と思いました。当時の悲惨な写真は見たことはあ、た、け、ど、  
何度みても驚きました。阪神淡路大震災を経験した方が、  
今、無事に生活できていることは奇跡だと思います。

私は姫路に住んでいて、姫路でも被害が大きかったと聞きます。  
私たちの学校のある神戸郊区はもっともっと大きな被害だったと  
聞き、約20年ほどでここまで復興しているのは、

素晴らしいと感じました。

私たちは震災を経験していないけれど、授業でかいて  
頂いたことを覚えます。次の世代へとつたいていくことが  
私たちのできることだと思います。

私は阪神淡路大震災を経験していないし、両親や祖父母も  
阪神地区に住んでいないので体験した人から実際に話を聞くこと  
ができるのはとても貴重で、リアルなドラマからも地震の恐ろ  
さがわかりました。震災が起きた時間はいつもは寝ているし、  
1月だととても寒いのでいつ起きるかわからないこと、いつ起き  
ても大丈夫な準備をしないといけないと思いました。私は  
犬を飼っているので、避難するときにペットはどうするのか  
心配になりました。小学生のときに防災について詳しく  
学んだのですが、何年も経って忘れたことや新しいことか  
あると思うので調べてみたいと思いました。